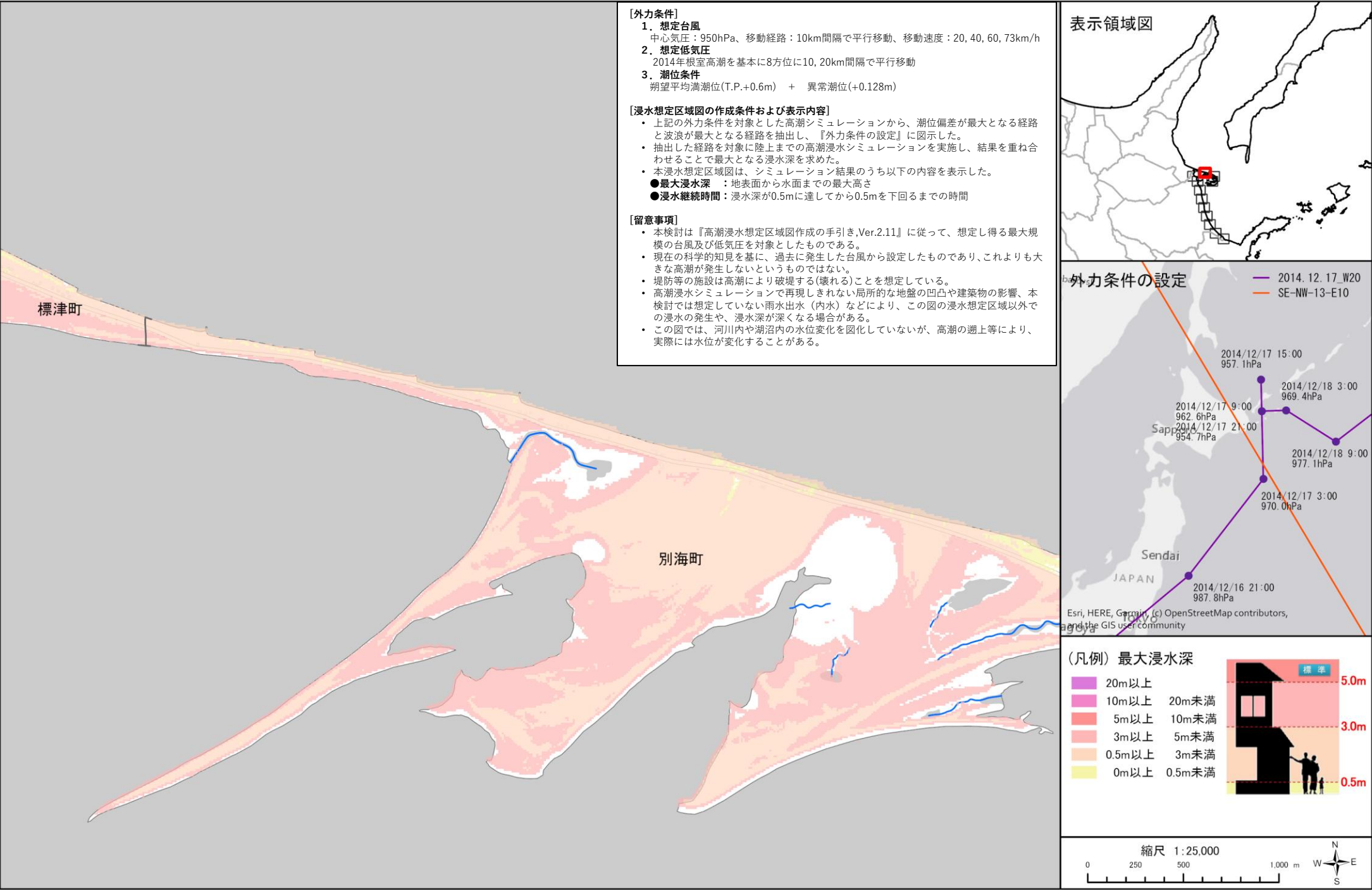
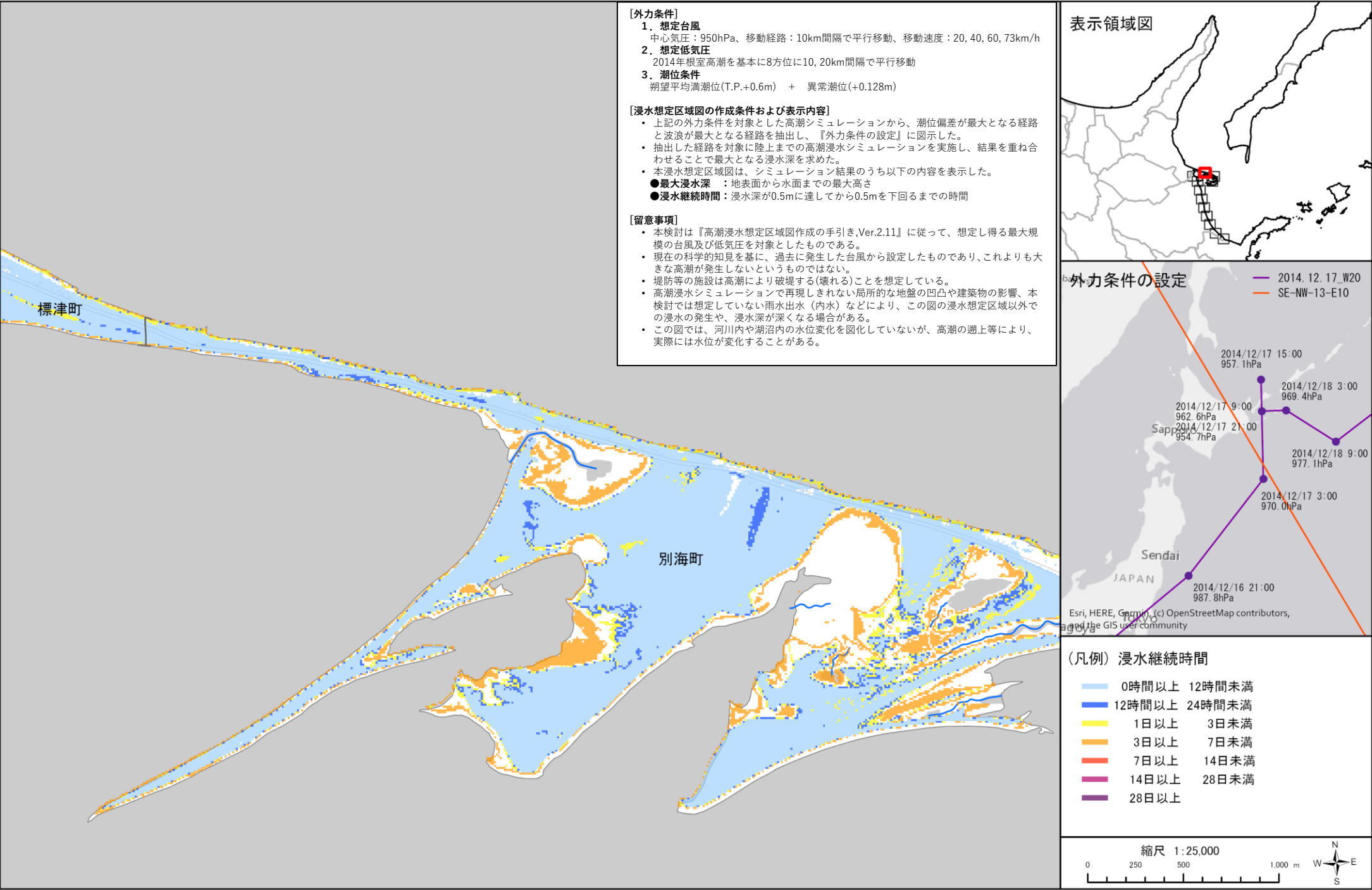


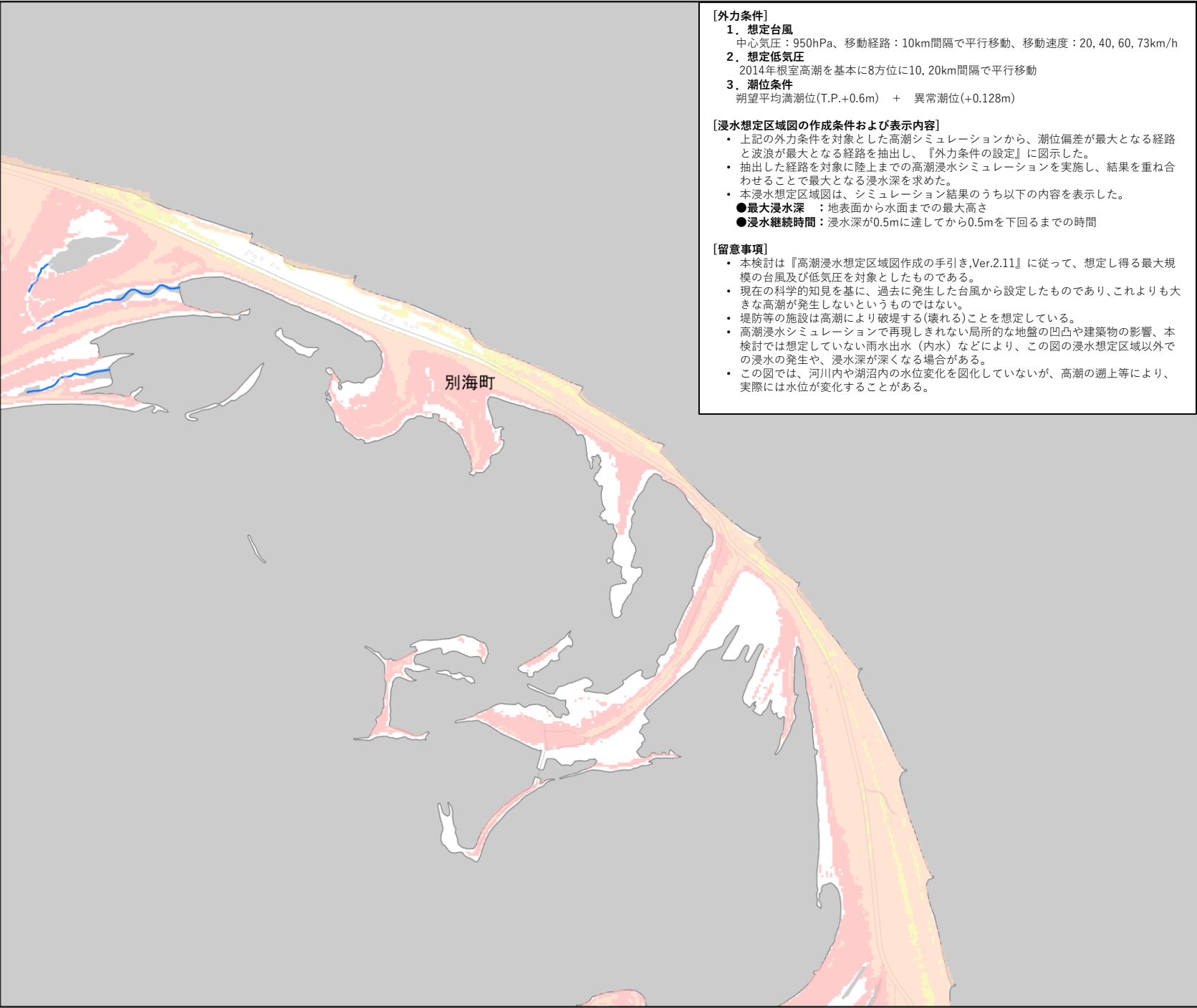
高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 1/ 12】



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 1/ 12】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 2/ 12】



【外力条件】

1. **想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2. **想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動

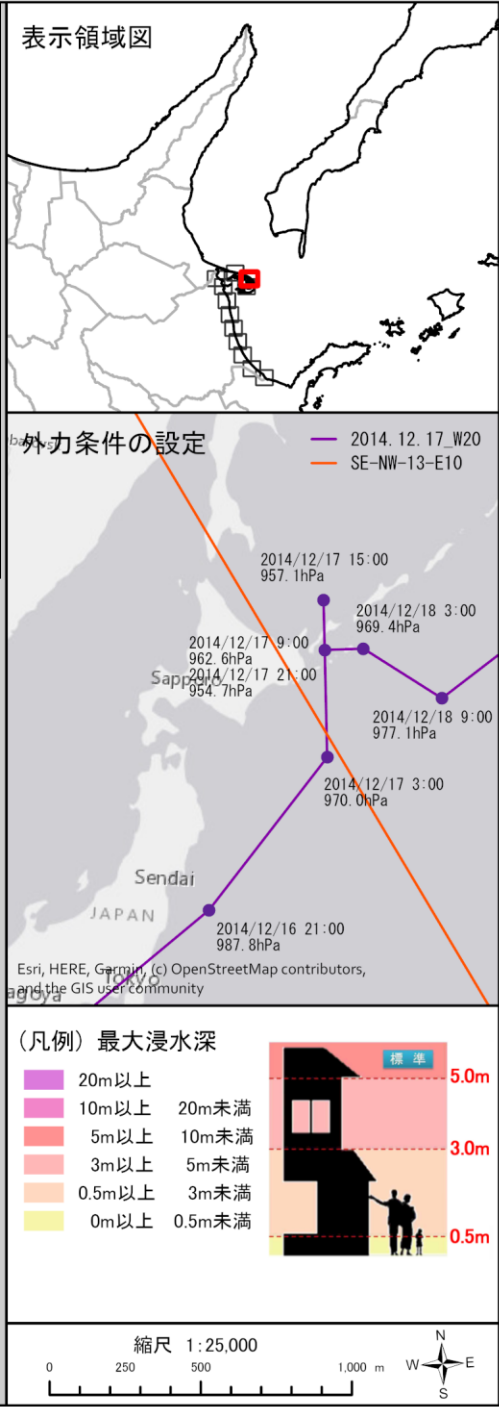
3. **潮位条件**
朔望平均満潮位 (T.P.+0.6m) + 異常潮位 (+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

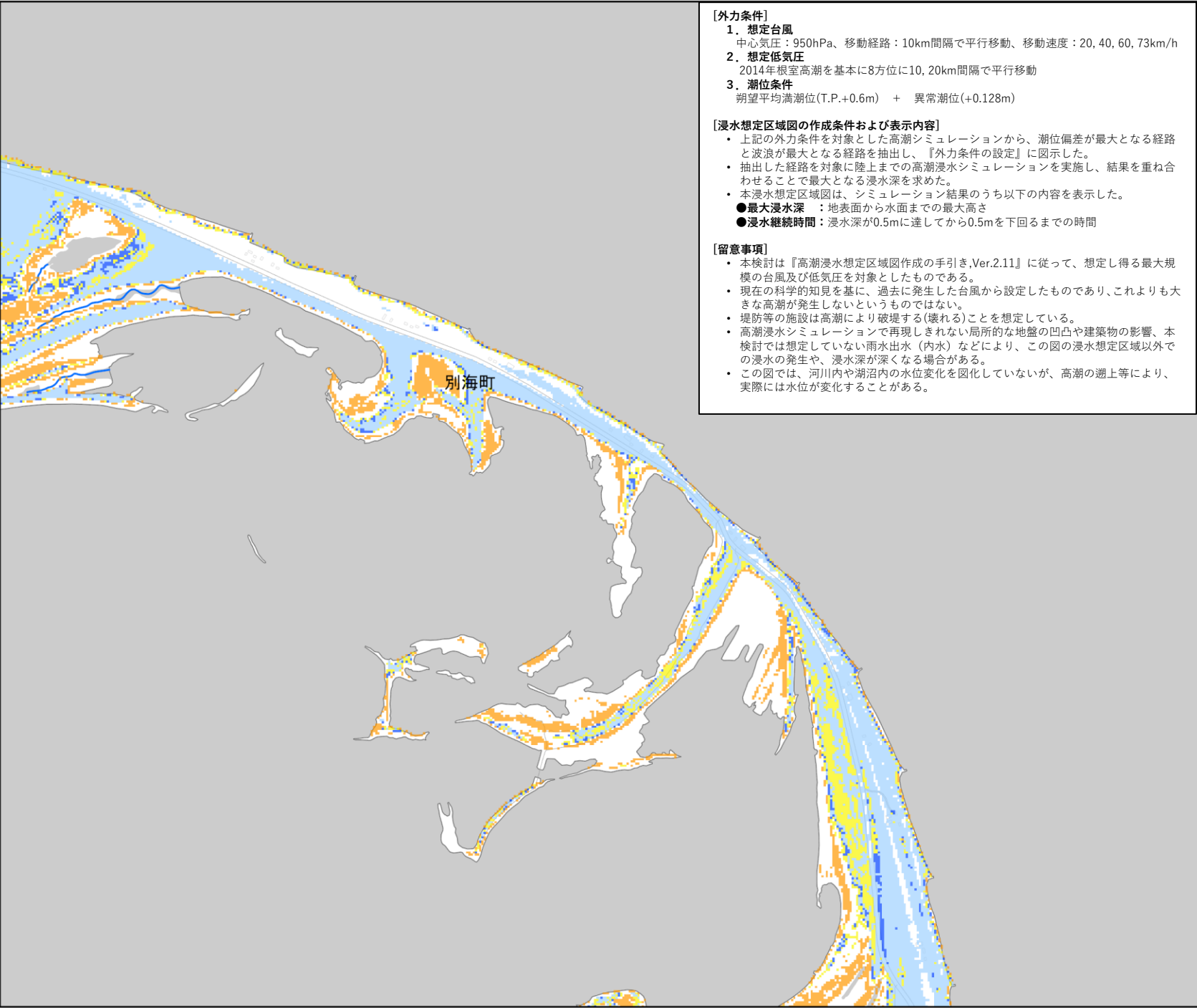
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

【留意事項】

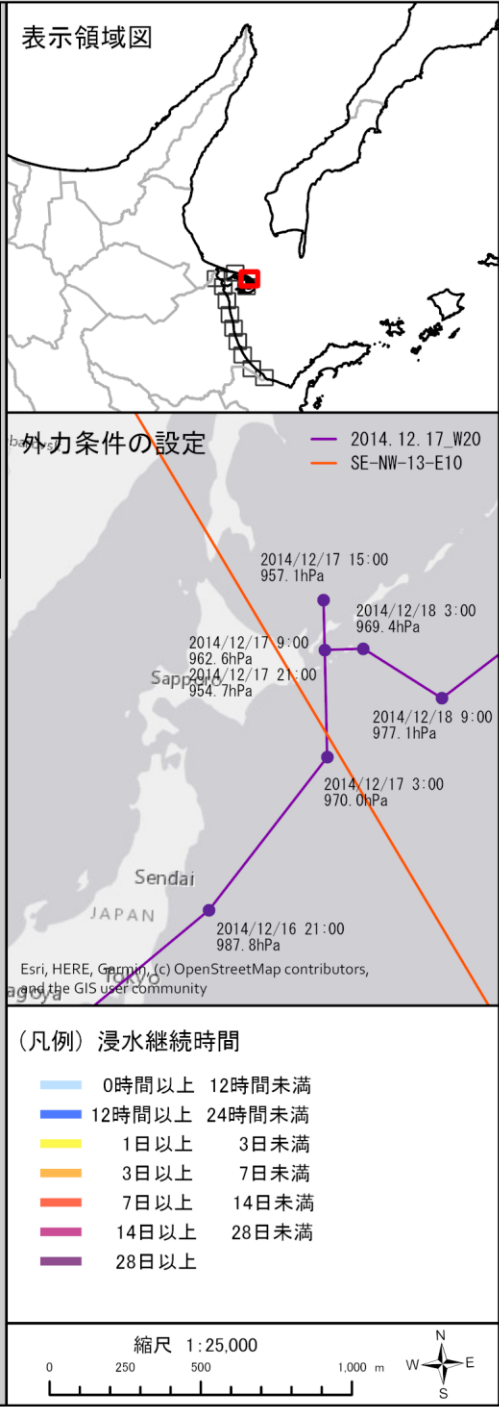
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



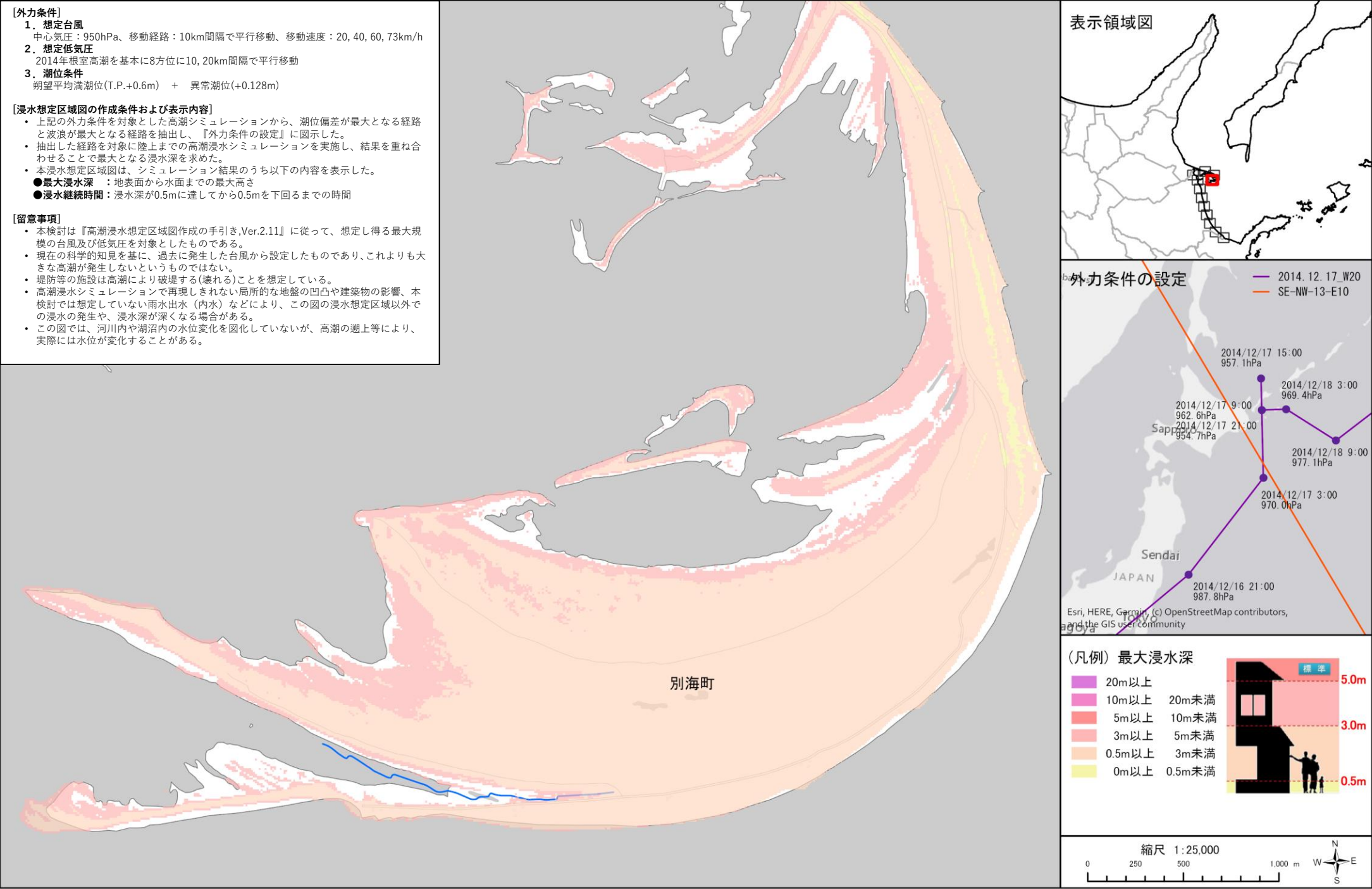
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 2/ 12】



- 【外力条件】**
- 1. 想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h
 - 2. 想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
 - 3. 潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)
- 【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】**
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
 - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
 - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間
- 【留意事項】**
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
 - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
 - 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
 - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
 - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 3/ 12】



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 3/ 12】

【外力条件】

1. 想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h
2. 想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
3. 潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

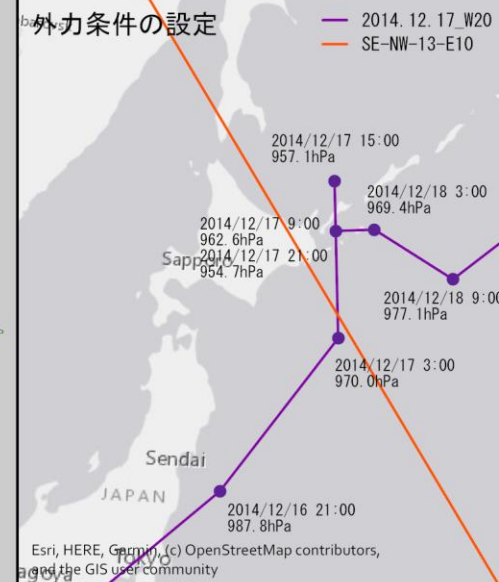
【留意事項】

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

表示領域図



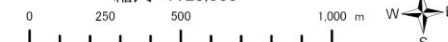
外力条件の設定



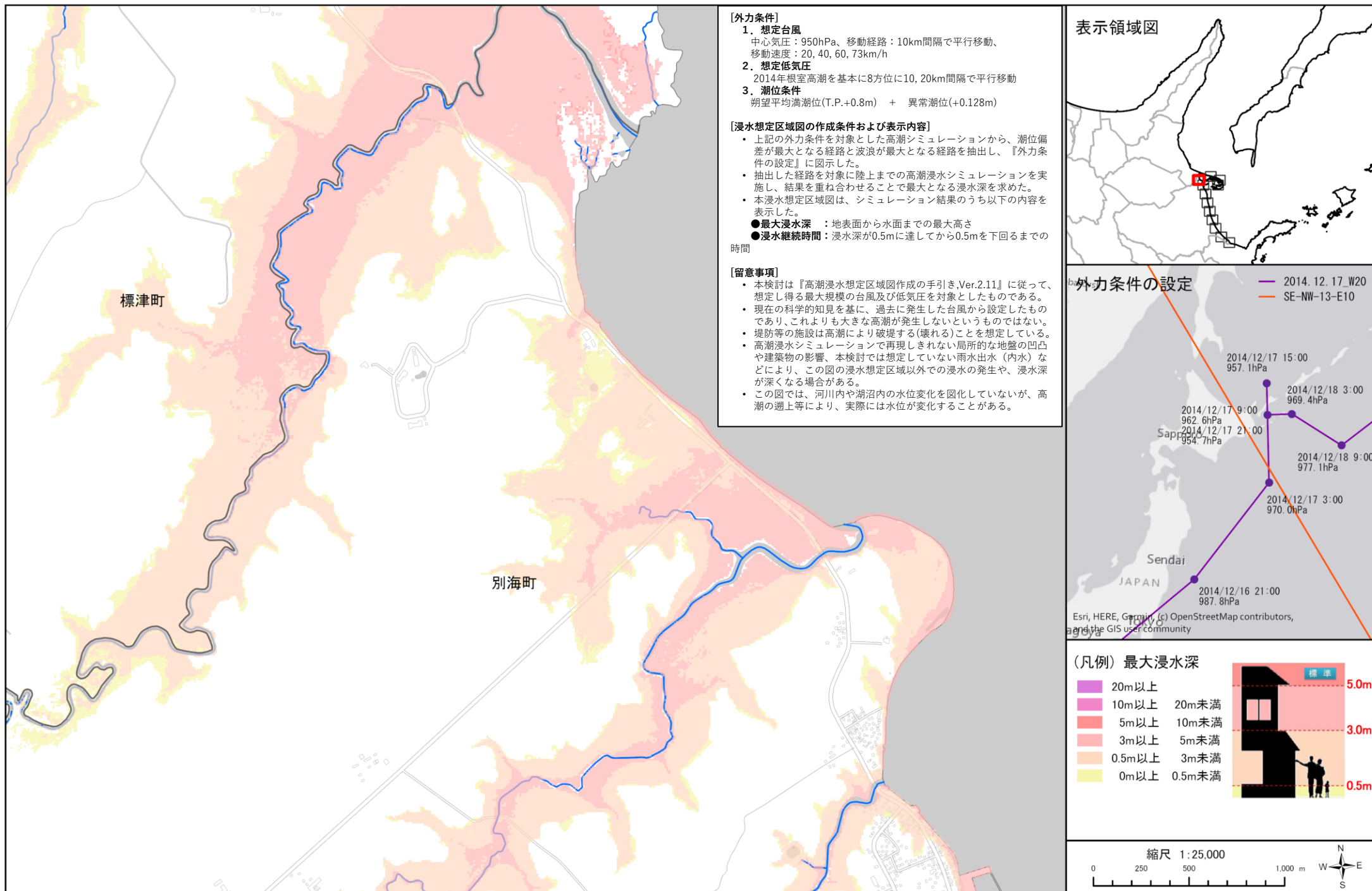
(凡例) 浸水継続時間

- 0時間以上 12時間未満
- 12時間以上 24時間未満
- 1日以上 3日未満
- 3日以上 7日未満
- 7日以上 14日未満
- 14日以上 28日未満
- 28日以上

縮尺 1:25,000



高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 4/ 12】



【外力条件】

1. 想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、
移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2. 想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動

3. 潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.8m) + 異常潮位(+0.128m)

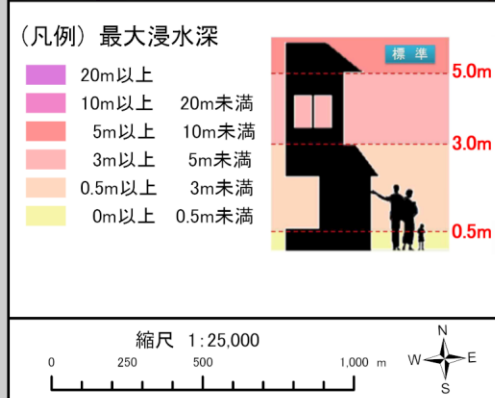
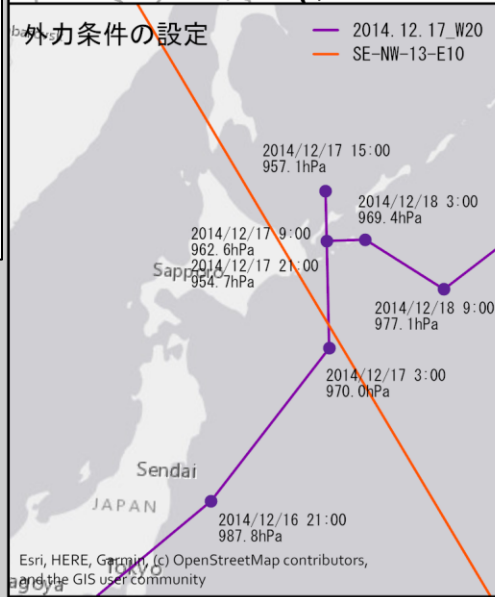
【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

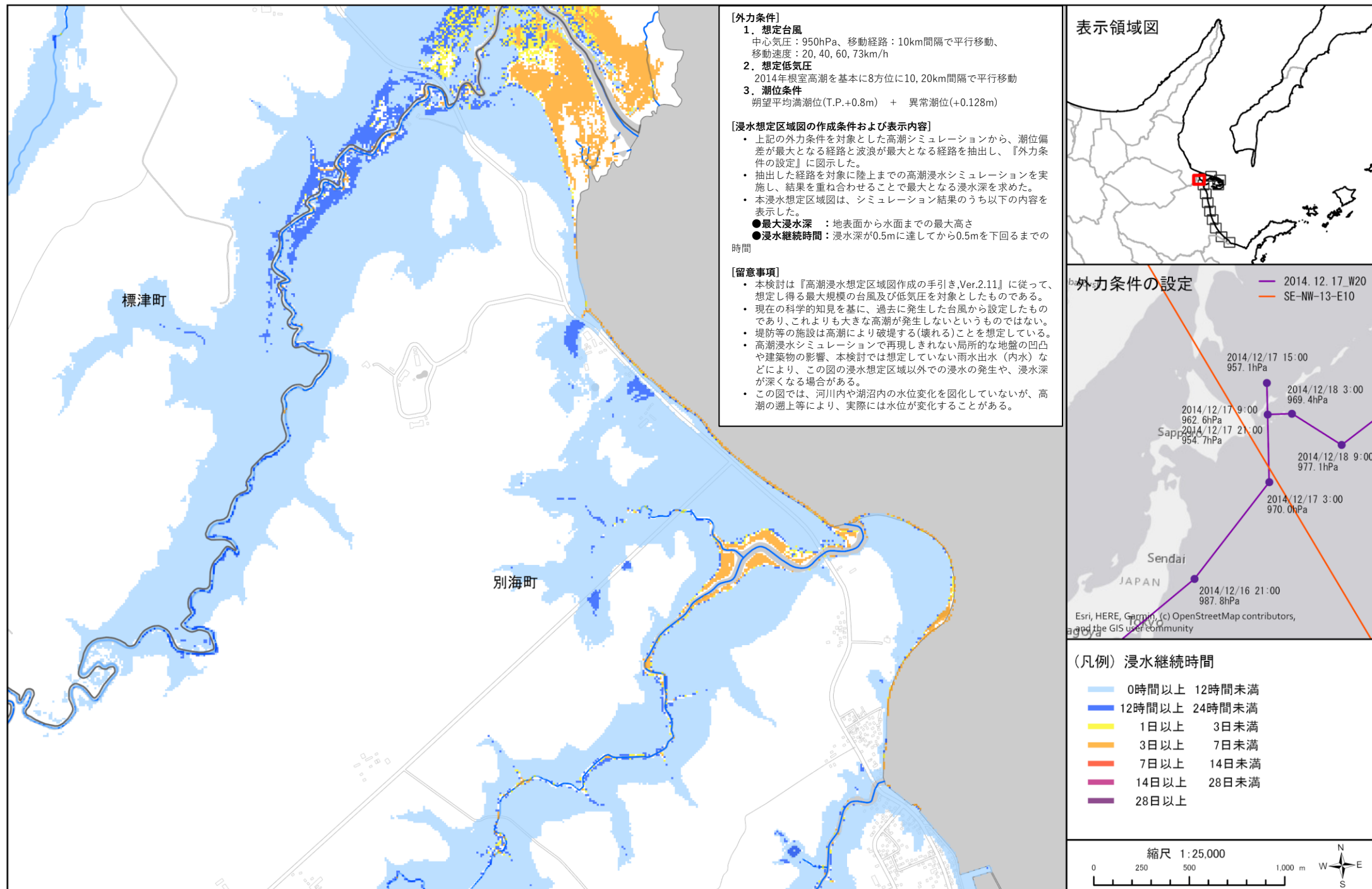
- **最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
- **浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

【留意事項】

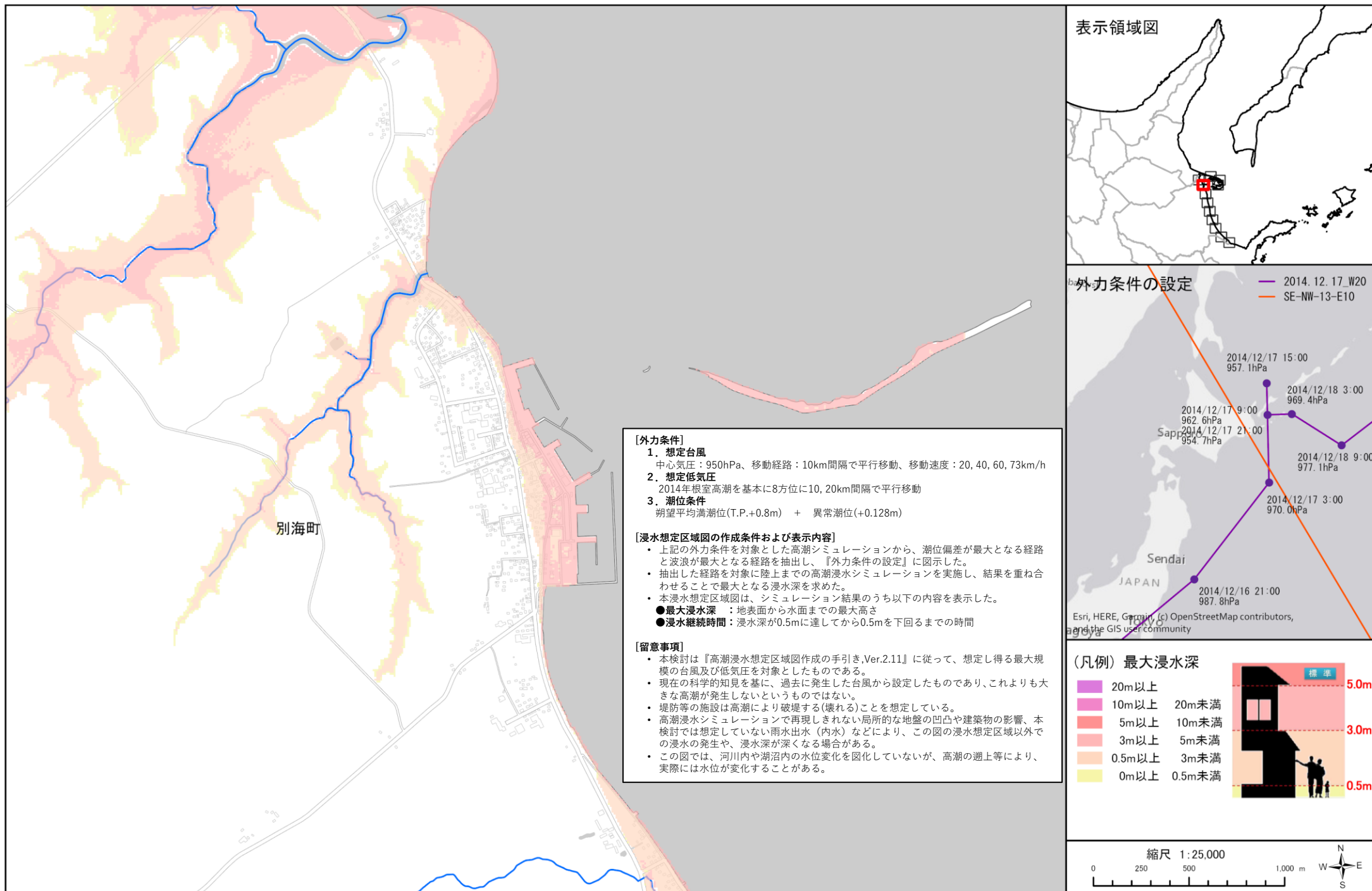
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



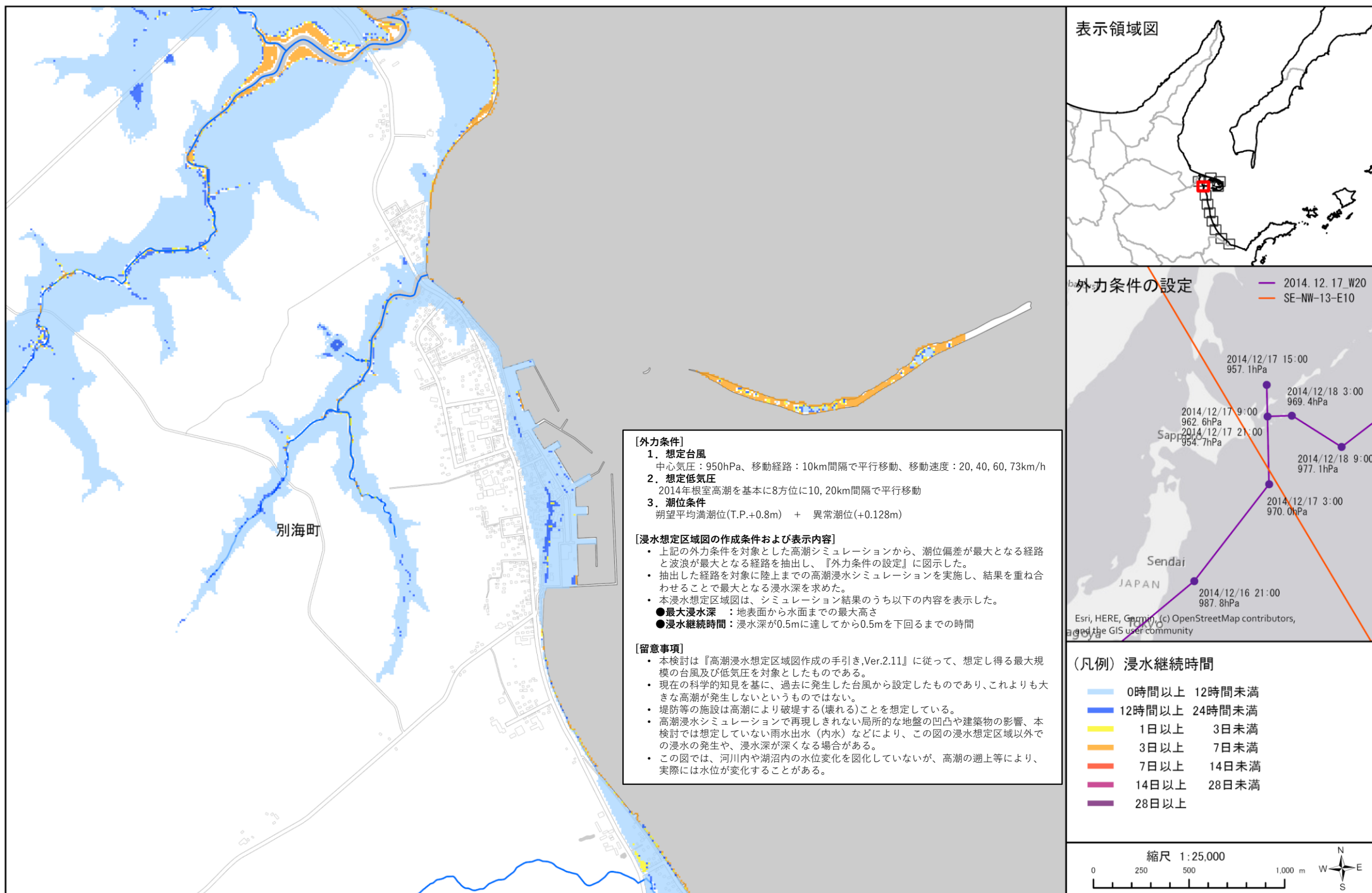
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 4/ 12】



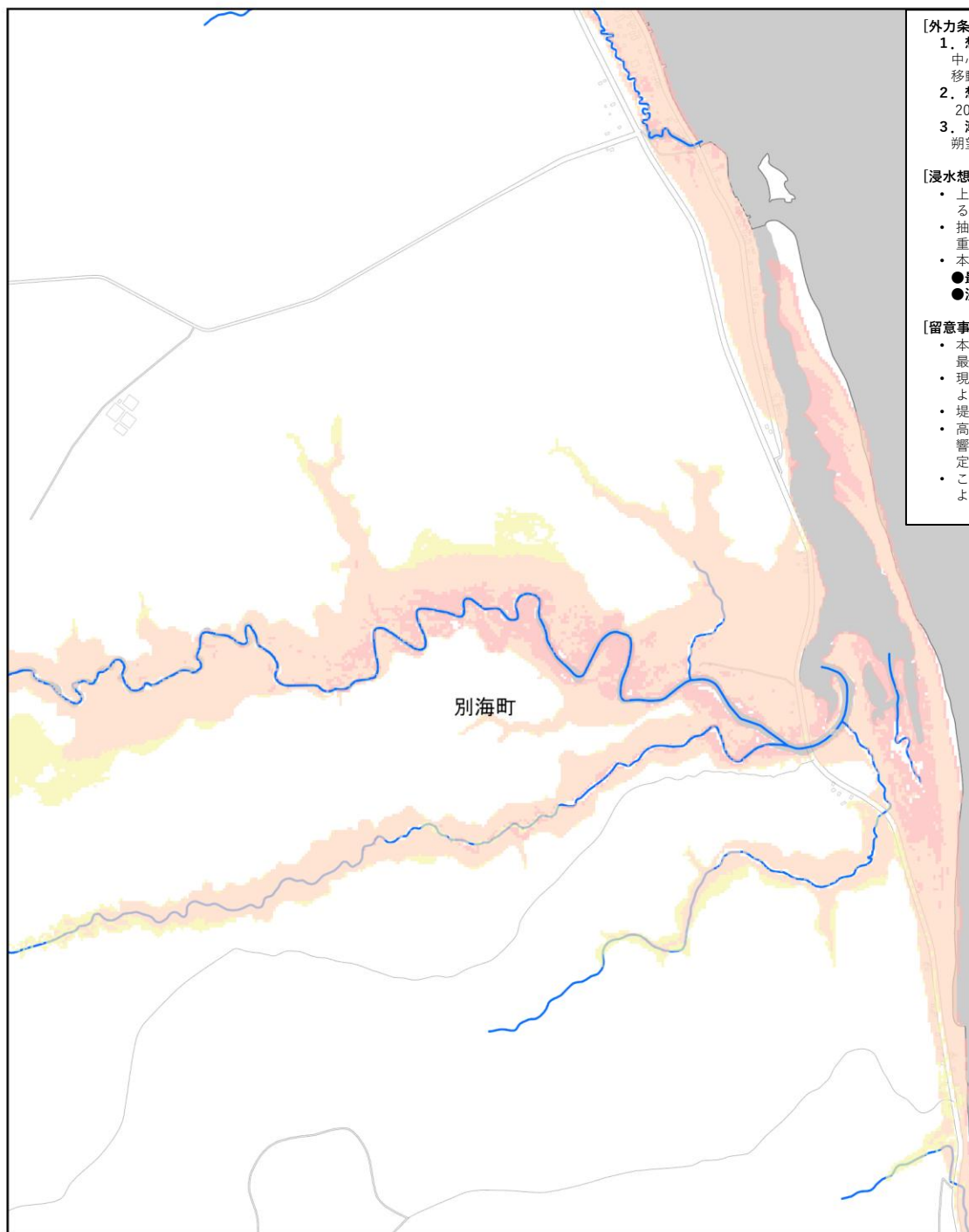
高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 5/ 12】



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 5/ 12】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 6/ 12】



【外力条件】

1. 想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、
移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動

3. 潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.8m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

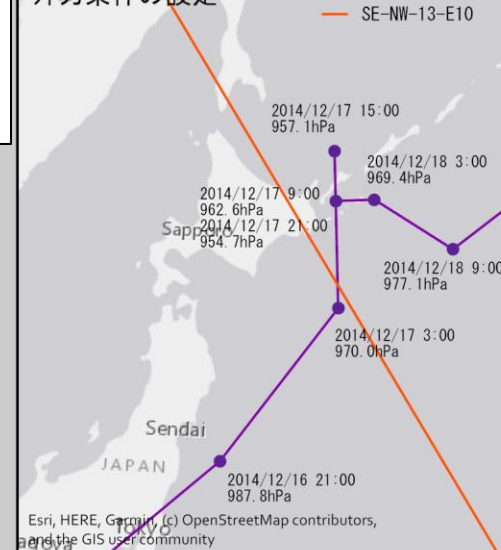
【留意事項】

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

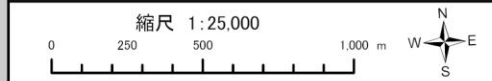
表示領域図



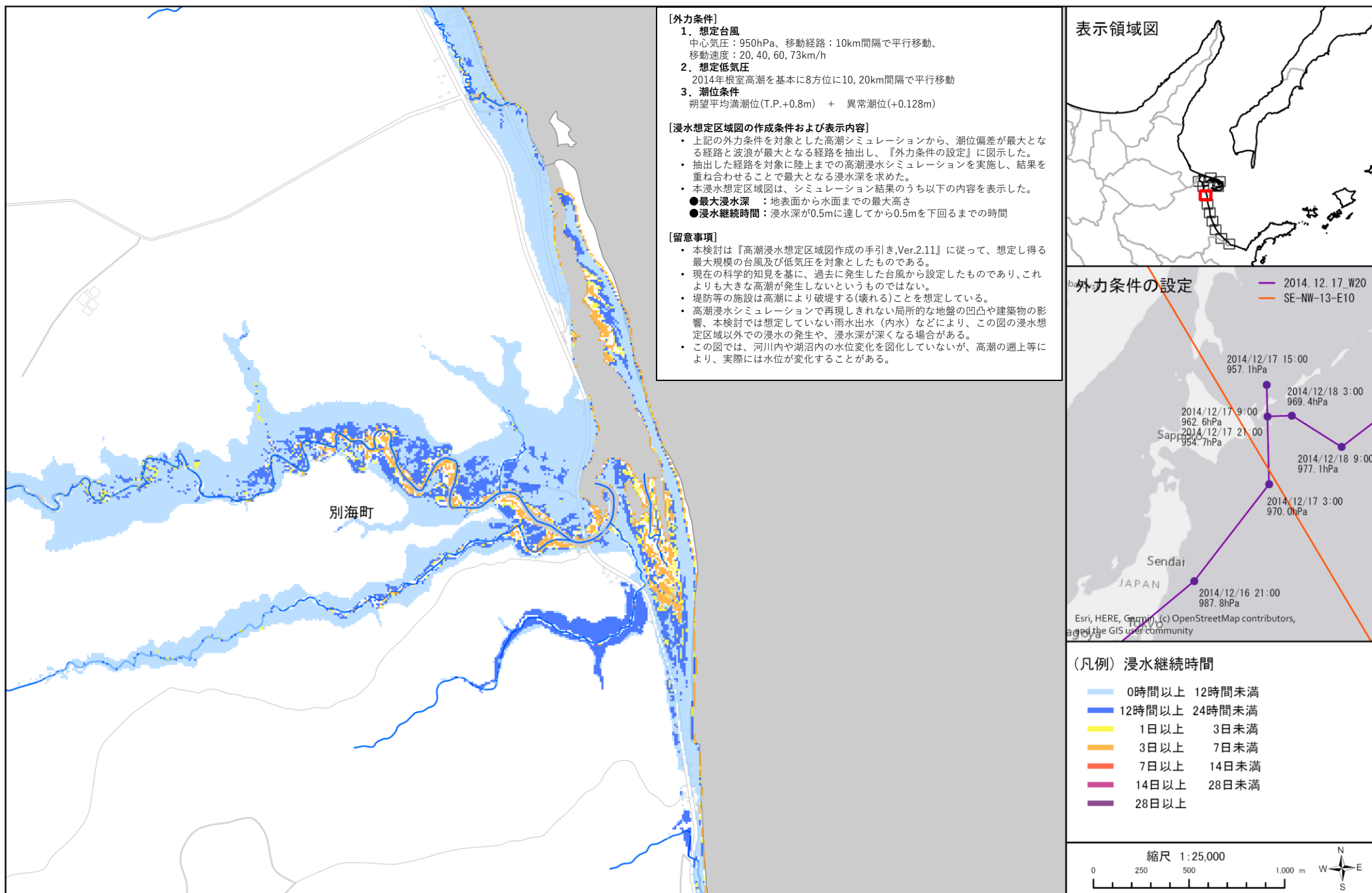
外力条件の設定



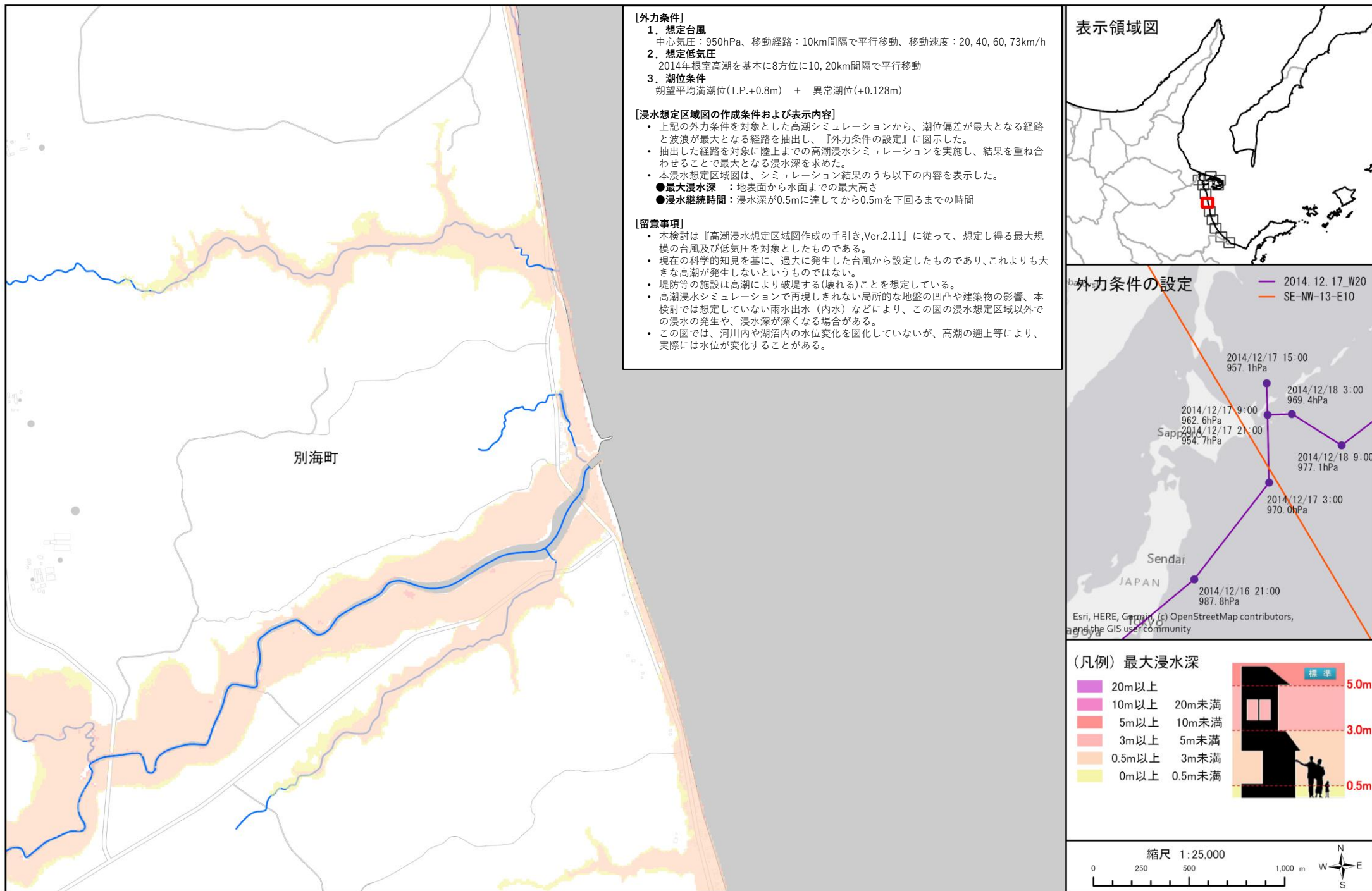
(凡例) 最大浸水深



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 6/ 12】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 7/ 12】



【外力条件】

1. 想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動

3. 潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.8m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

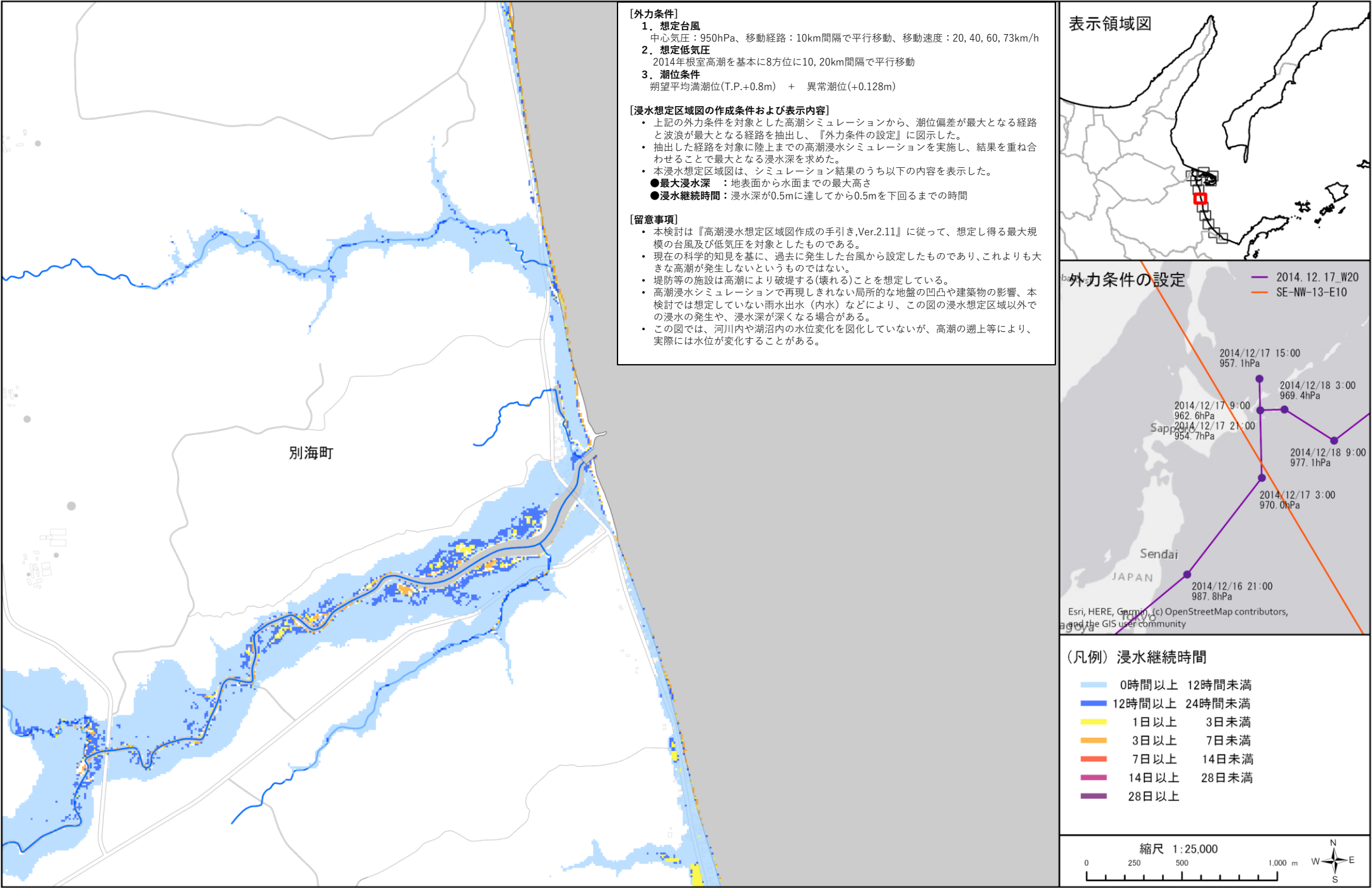
●最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ

●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

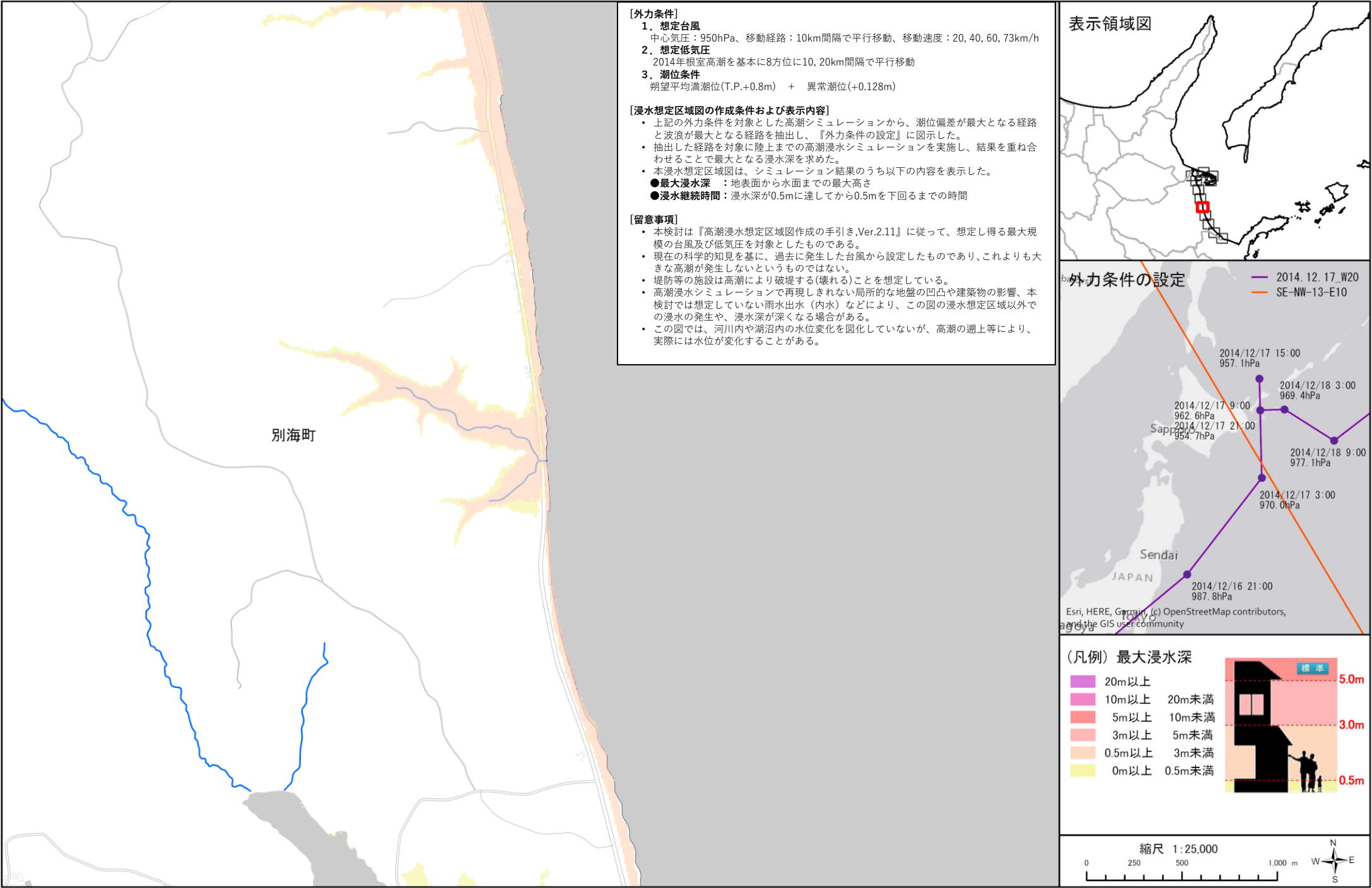
【留意事項】

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 7/ 12】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 8/ 12】



【外力条件】

1. 想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h
2. 想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
3. 潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.8m) + 異常潮位(+0.128m)

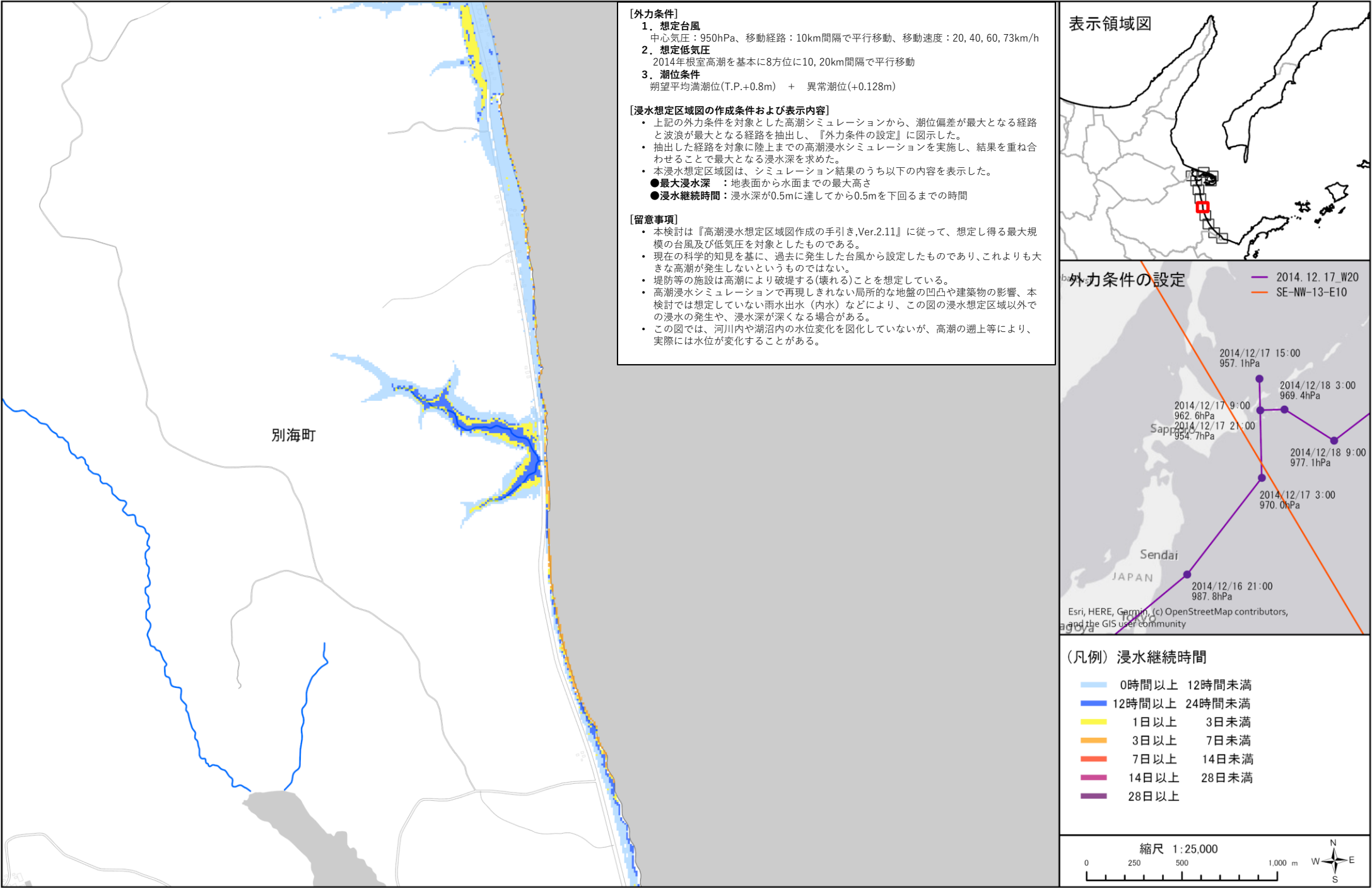
【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

【留意事項】

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 8/ 12】



【外力条件】

1. 想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h
2. 想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
3. 潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.8m) + 異常潮位(+0.128m)

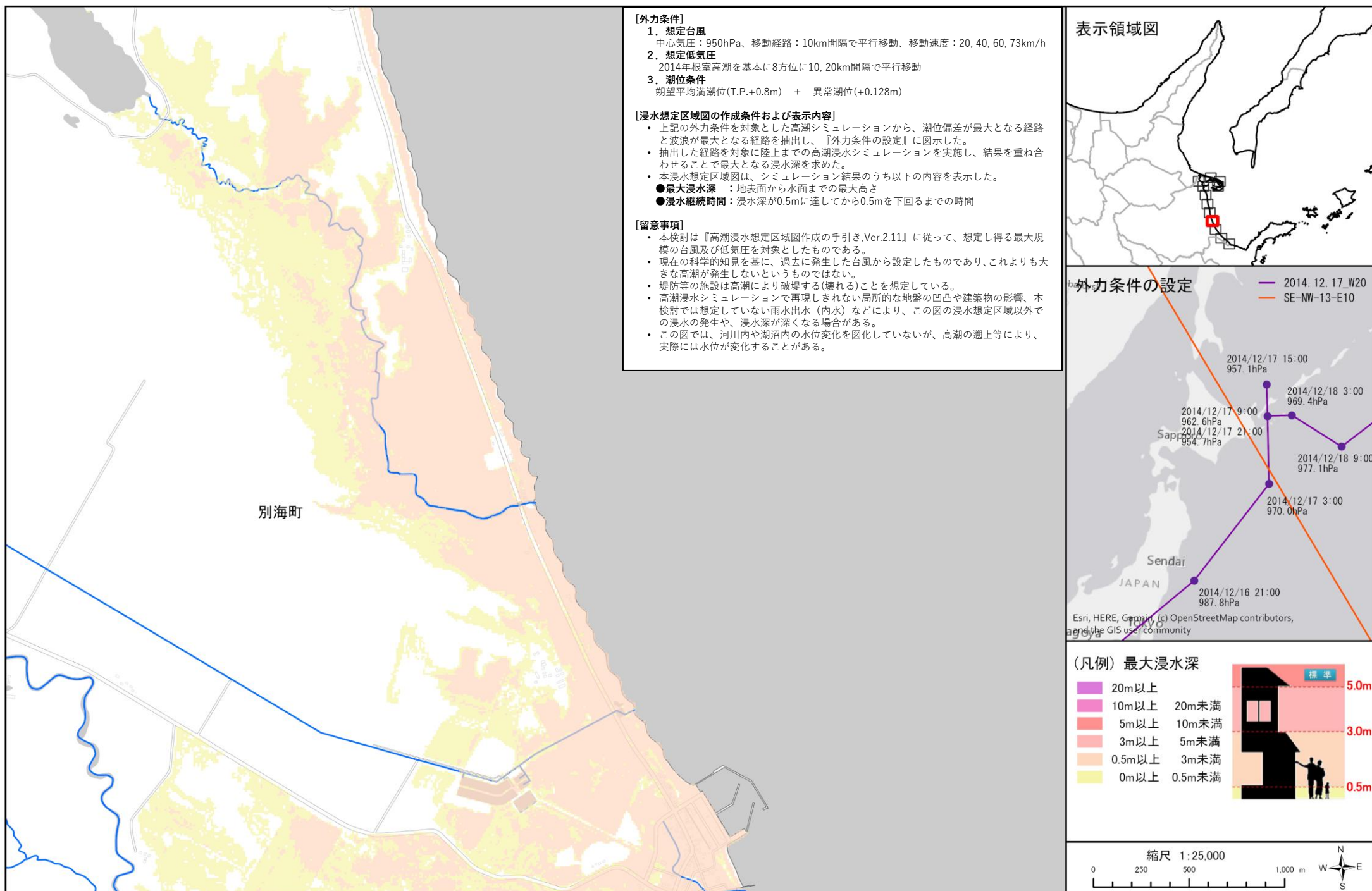
【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
●最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

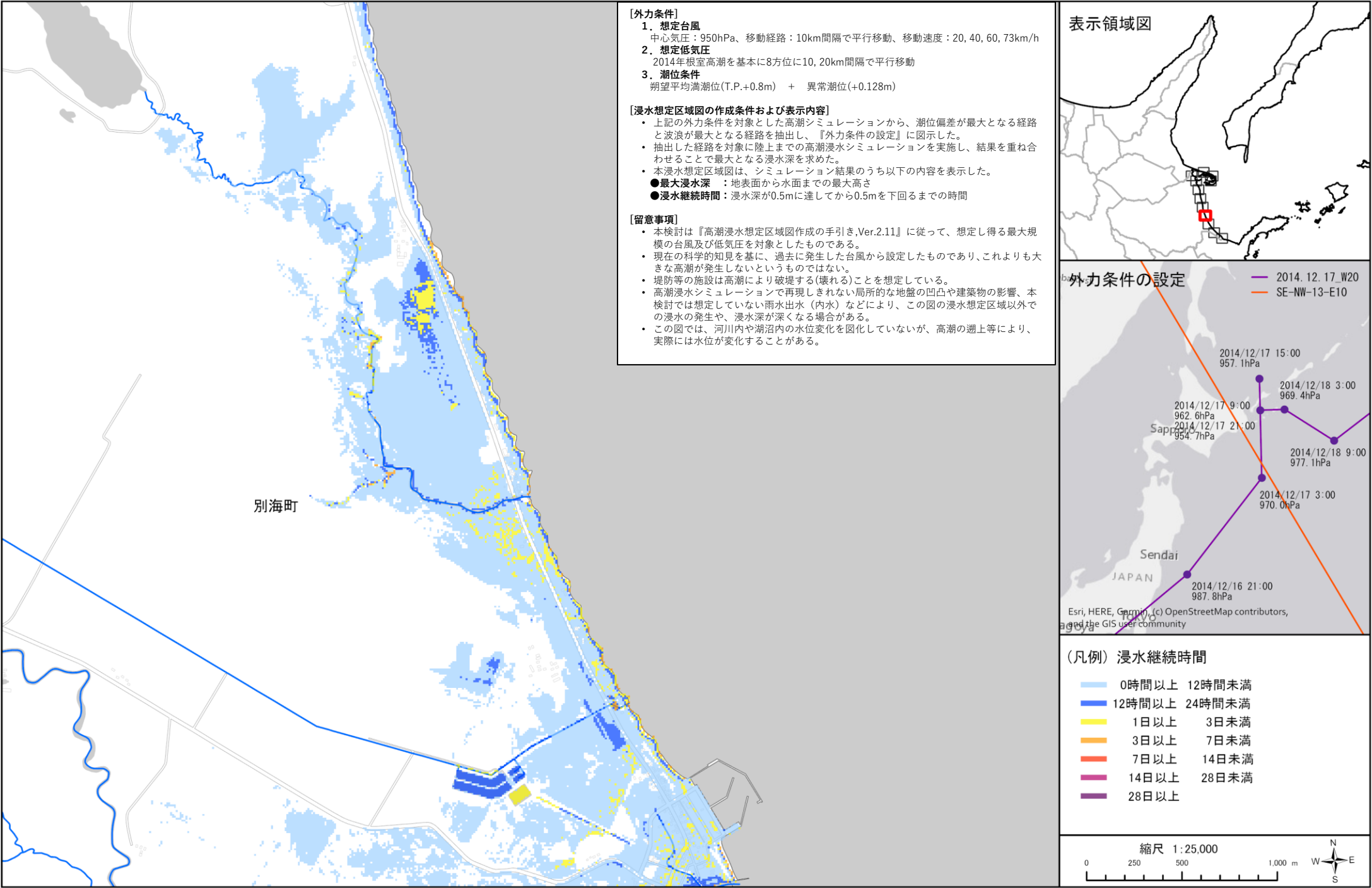
【留意事項】

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

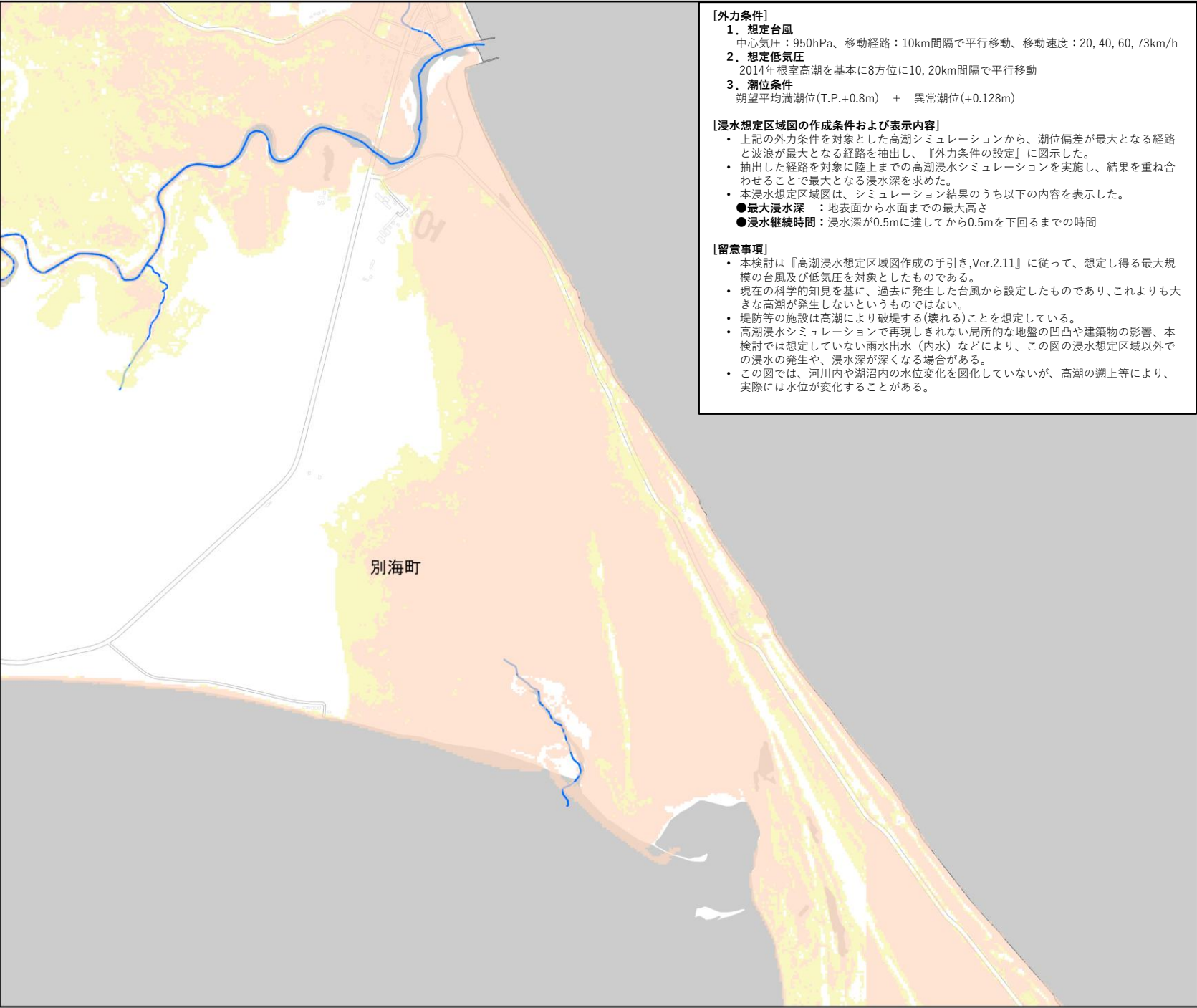
高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 9/ 12】



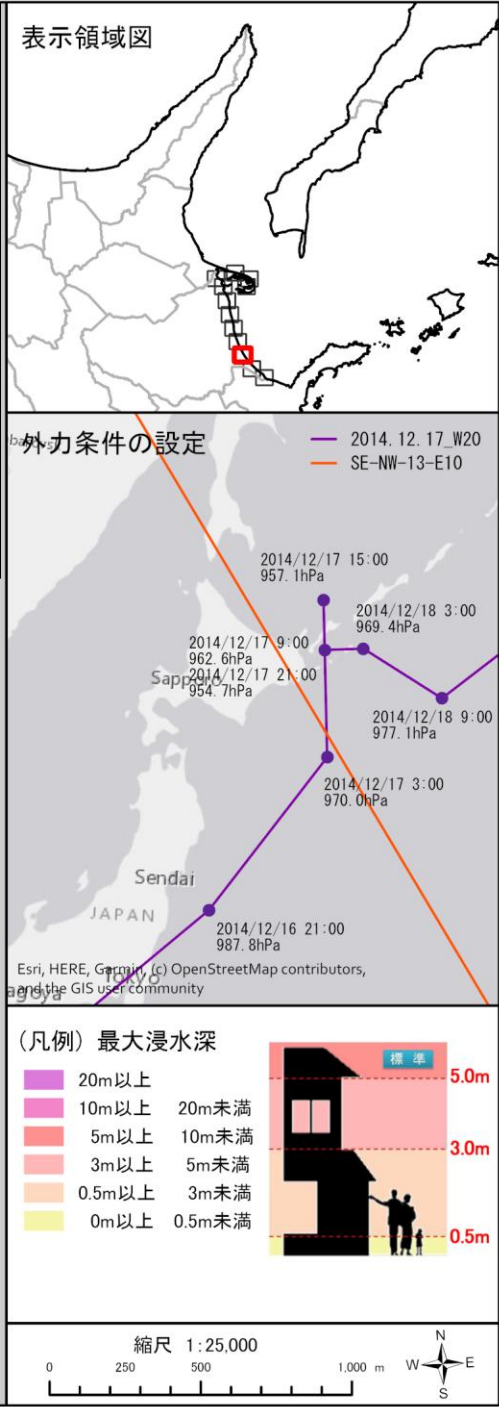
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 9/ 12】



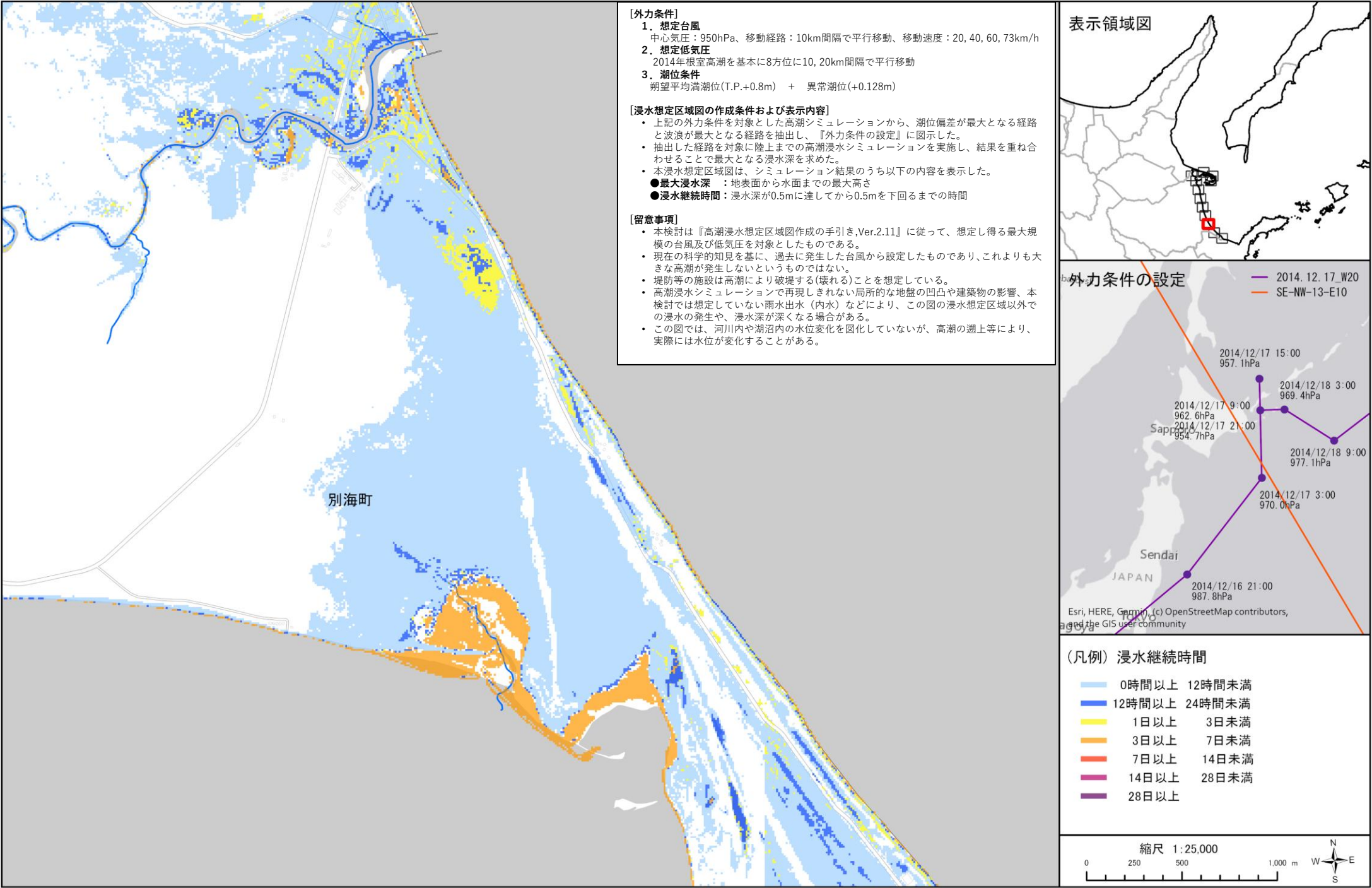
高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 10/ 12】



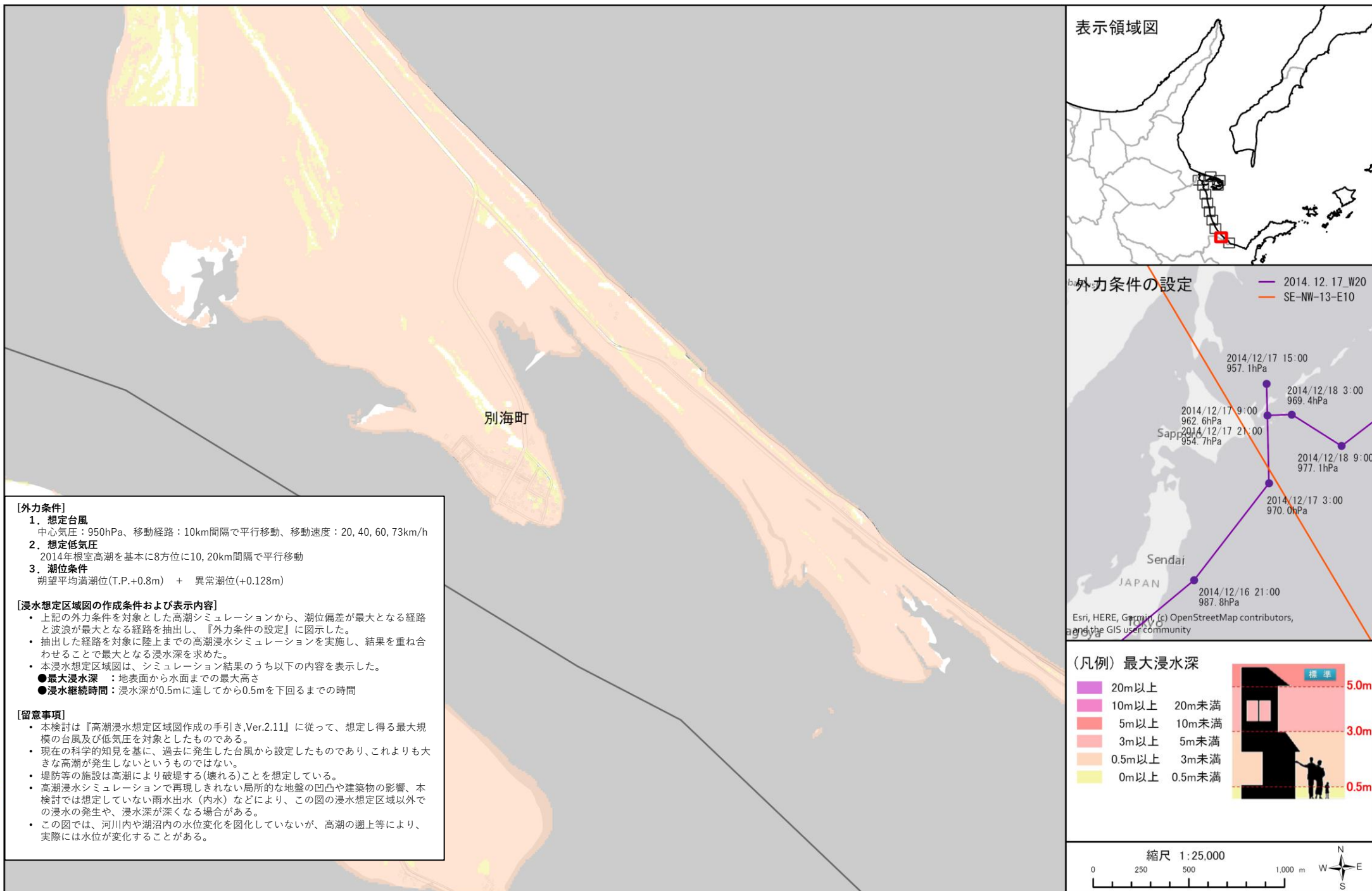
- 【外力条件】**
- 1. **想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h
 - 2. **想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
 - 3. **潮位条件**
朔望平均満潮位 (T.P.+0.8m) + 異常潮位 (+0.128m)
- 【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】**
- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
 - ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
 - ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - **最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - **浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間
- 【留意事項】**
- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
 - ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
 - ・堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
 - ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
 - ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



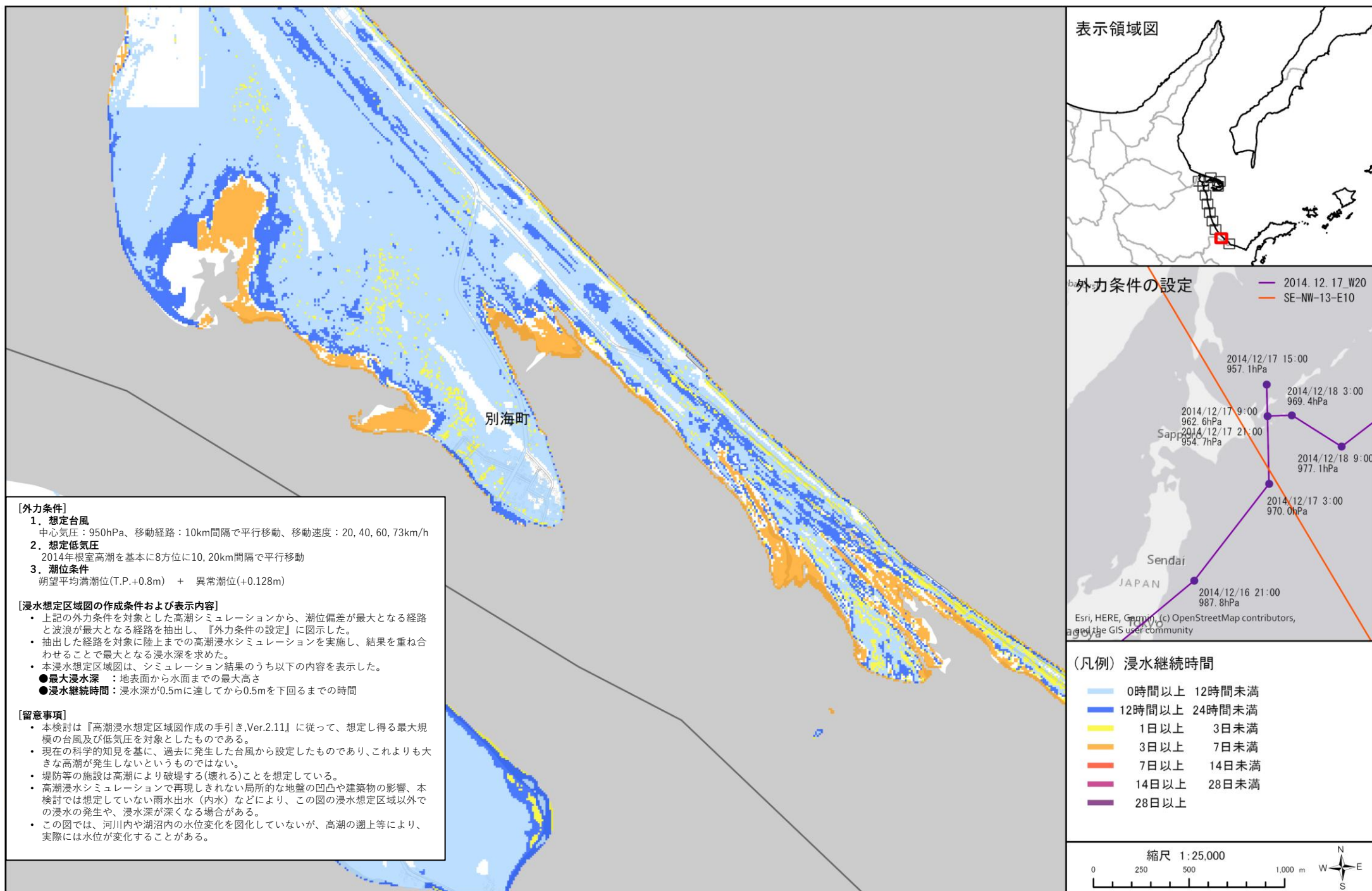
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 10/ 12】



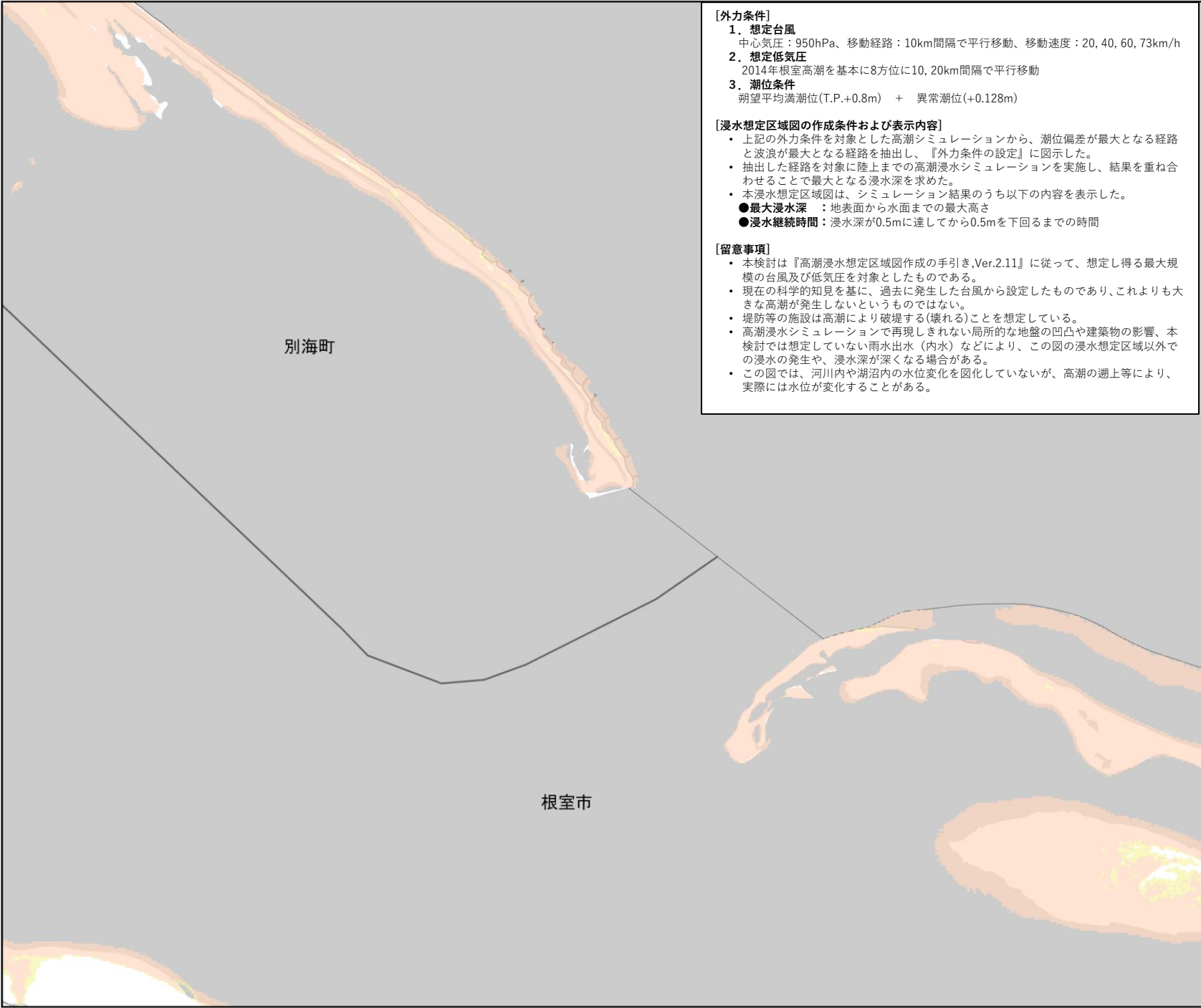
高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 11/ 12】



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間） 【別海町 11/ 12】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【別海町 12/ 12】



【外力条件】

- 1. **想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h
- 2. **想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
- 3. **潮位条件**
朔望平均満潮位 (T.P.+0.8m) + 異常潮位 (+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - **最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - **浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

【留意事項】

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

表示領域図

外力条件の設定

2014. 12. 17_W20
SE-NW-13-E10

2014/12/17 15:00 957.1hPa
2014/12/18 3:00 969.4hPa
2014/12/17 9:00 962.6hPa
2014/12/17 21:00 954.7hPa
2014/12/18 9:00 977.1hPa
2014/12/17 3:00 970.0hPa
2014/12/16 21:00 987.8hPa

Sapporo
Sendai
JAPAN

Esri, HERE, Garmin, (c) OpenStreetMap contributors, and the GIS user community

(凡例) 最大浸水深

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
3m以上	3m未満
0.5m以上	0.5m未満
0m以上	0.5m未満

標準 5.0m
3.0m
0.5m

縮尺 1:25,000

0 250 500 1,000 m W E S N

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【別海町 12/ 12】

